

- 23) 藤田 聡, 大達里佳, 林 龍二, 手丸理恵, 堀亨, 丸山宗治, 山下直宏, 小林 正, 北川正信: 胸腔鏡下肺生検(VATS)にて炎症性偽腫瘍(inflammatory pseudo tumor)と診断し得たシェーグレン症候群の1例. 第58回間質性肺疾患研究会, 1998, 5, 東京.
- 24) 北林正子, 廣上眞里子, 平井康子, 大角誠治, 小林 正: 糖尿病患者におけるBMIと体脂肪率との相関について. 第5回インスリン抵抗性研究会, 1998, 7, 富山.
- 25) 蓑 毅峰, 杉山英二, 多喜博文, 黒田有彦, 堀亨, 沢崎茂樹, 小林 正, 金粕浩一, 本莊 茂, 加藤弘巳: RA滑膜細胞とサイトカイン. 第13回富山県リウマチ性疾患研究会, 1998, 9, 富山.
- 26) 林 龍二, 山下直宏, 松井祥子, 丸山宗治, 吉田良昌, 荒井信貴, 藤田 聡, 小林 正: プラディキニンのヒト肺線維芽細胞に対するIL-8産生効果. 第19回富山免疫アレルギー研究会, 1998, 1, 富山.
- 27) 林 龍二, 山下直宏, 松井祥子, 丸山宗治, 吉田良昌, 大崎緑男, 荒井信貴, 佐々和彦, 藤田聡, 三輪敏郎, 荒屋 潤, 河岸由紀男, 小林 正: ヒト肺線維芽細胞のIL-6およびIL-8産生に及ぼすプラディキニンの影響. 第2回ALI研究会, 1998, 8, 東京.

内 科 学 (2)

教 授	井 上 博
助 教	高 田 正 信
講 師	麻野井 英 次
講 師	藤 木 明 久
助 手	三 羽 邦 久
助 手 (前)	岸 本 千 晴
助 手	高 嶋 修 太 郎
助 手	能 澤 孝 宏
助 手	供 田 文 忠
助手(研究休職)	平 井 忠 和
文 部 技 官	上 野 均
	野 手 姫 代 美

◆ 著 書

- 1) 井上 博: 発作性心室頻拍. 「今日の治療方針」日野原重明, 阿部正和監修, 329-330, 医学書院, 東京, 1998.
- 2) 井上 博: 心房期外収縮. 「循環器疾患最新の治療1998-1999」篠山重威, 矢崎義雄編集, 293-296, 南江堂, 東京, 1998.
- 3) 井上 博: ブロックを伴う心房頻拍. 「質疑応答による不整脈」松尾博司編著, 65-66, 日本醫事新報社, 東京, 1998.
- 4) 井上 博: 心臓性失神の診断と治療. 「臨床心臓病学 エキスパートに学ぶ」甲谷哲郎編集, 127-131, インターメディカル, 東京, 1998.
- 5) 井上 博: 不整脈. 「循環器疾患治療の新たな展開—カルシウム拮抗薬の最新知見から—」加藤和三, 吉永 馨, 猿田亨男, 萩原俊男編集, 90-102, 医薬ジャーナル社, 大阪, 1998.
- 6) 麻野井英次: 新しい経口強心薬の有効性と使い方. 「目で見える循環器病シリーズ13: 循環器病の薬物療法」齊藤宗靖編集, 49-55, メジカルビュー社, 東京, 1998.
- 7) 麻野井英次: 心不全重症度評価. 「循環機能検査ハンドブック」北畠顕, 小川聡, 永井良三, 堀正二編集, 440-443, 中山書店, 東京, 1998.
- 8) 麻野井英次: 薬物療法の手順. 「実地医家のための心不全治療マニュアル」高野照夫編集, 98-107, 医薬ジャーナル社, 東京, 1998.
- 9) 麻野井英次: 前負荷と後負荷の関わりは. 「心臓病診療プラクティス: 心不全を癒す」吉川純一, 松崎益徳編集, 32-35, 文光堂, 東京, 1998.
- 10) 麻野井英次: 心不全治療の利尿と輸液. 「心臓病: 専門医に聞く最新の臨床」永井良三, 三田村

- 秀雄, 川名正敏編集, 17-18, 中外医学社, 東京, 1998.
- 11) 麻野井英次: 急性心筋梗塞の急性心不全の薬物療法. 「心臓病: 専門医に聞く最新の臨床」永井良三, 三田村秀雄, 川名正敏編集, 26-27, 中外医学社, 東京, 1998.
 - 12) 麻野井英次: 急性心不全治療のためのモニター. 「心臓病: 専門医に聞く最新の臨床」永井良三, 三田村秀雄, 川名正敏編集, 30-31, 中外医学社, 東京, 1998.
 - 13) 藤木 明: QT延長例の診断. 「質疑応答による不整脈」松尾博司編著, 124-126, 日本醫事新報社, 東京, 1998.
 - 14) 藤木 明, 井上 博: WPW症候群. 「内科治療ガイド' 98」和田攻, 大久保昭行, 永田直一, 矢崎義雄編著, 433-436, 文光堂, 東京, 1998.
 - 15) 高嶋修太郎: 臨床検査. 「脳卒中ハンドブック」高木誠, 大平貴之鑑訳, 65-82, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 東京, 1998.
 - 16) 能澤 孝, 井上 博: 循環器疾患. 「実践臨床検査医学」大久保昭行, 中井利昭, 渡辺清明編集, 143-153, 文光堂, 東京, 1998.
 - 17) 谷 昌尚, 井上 博: AMI急性期の徐脈性不整脈の管理. 「心臓病-専門医に聞く最新の臨床-」永井良三, 三田村秀雄, 川名正敏編集, 196, 中外医学社, 東京, 1998.
 - 18) 谷 昌尚, 井上 博: AMI急性期の心室性不整脈の管理. 「心臓病-専門医に聞く最新の臨床-」永井良三, 三田村秀雄, 川名正敏編集, 197, 中外医学社, 東京, 1998.
 - 19) 谷 昌尚, 井上 博: AMI急性期の心室性頻拍に対する考え方. 「心臓病-専門医に聞く最新の臨床-」永井良三, 三田村秀雄, 川名正敏編集, 198-199, 中外医学社, 東京, 1998.
 - 20) 碓井雅博, 井上 博: 不整脈と心不全. 「実地医家のための心不全治療マニュアル」高野照夫編集, 204-214, 医薬ジャーナル社, 大阪, 1998.
- ◆ 原 著
- 1) Miwa K., Yoshida N., Nakagawa K., and Inoue H.: High-density lipoprotein particles are large in patients with variant angina. *Cardiovasc. Res.* 37:729-737, 1998.
 - 2) Miwa K., Igawa A., Miyagi Y., Nakagawa K., and Inoue H.: Alterations of autonomic nervous activity preceding nocturnal variant angina: Sympathetic augmentation with parasympathetic impairment. *Am. Heart J.* 135:762-771, 1998.
 - 3) Nozawa T., Igawa A., Yoshida N., Maeda M., Inoue M., Yamamura Y., Asanoi H., and Inoue H.: Dual-tracer assessment of coupling between cardiac sympathetic neuronal function and downregulation of β -receptors during development of hypertensive heart failure of rats. *Circulation* 97:2359-2367, 1998.
 - 4) Kameyama T., Chen Z., Bell S. P., Fabian J., LeWinter M. M.: Mechanoenergetic studies in isolated mouse hearts. *Am. J. Physiol.* 274:H366-H374, 1998.
 - 5) Kameyama T., Chen Z., Bell S. P., VanBuren P., Maughan D., LeWinter M. M.: Mechanoenergetic alterations during the transition from cardiac hypertrophy to failure in Dahl salt-sensitive rats. *Circulation* 98:2919-2929, 1998.
 - 6) Ishise H., Asanoi H., Ishizaka S., Joho S., Kameyama T., Umeno K., and Inoue H.: Time course of sympathovagal imbalance and left ventricular dysfunction in conscious dogs with heart failure. *J. Appl. Physiol.* 84:1234-1241, 1998.
 - 7) Shimono M., Fujiki A., and Inoue H.: Relation between autonomic nerve activity and QT interval in patients with congenital long QT syndrome: Analysis using 24-hour Holter ECG monitoring. *Ann. Noninv. Electrocardiol.* 3:12-19, 1998.
 - 8) Hayashi H., Fujiki A., Tani M., Usui M., and Inoue H.: Different effects of class I c and III antiarrhythmic drugs on vagotonic atrial fibrillation in the canine heart. *J. Cardiovasc. Pharmacol.* 31:101-107, 1998.
 - 9) Tomita S., Ueno H., Takata M., Yasumoto K., Tomoda F., and Inoue H.: Relationship between electrocardiographic voltage and geometric patterns of left ventricular hypertrophy in patients with essential hypertension. *Hypertens. Res.* 21:259-266, 1998.
 - 10) 不整脈薬物療法研究会: 心房細動と血栓塞栓症: 多施設共同調査. *J. Cardiol.* 31:227-238, 1998.
 - 11) 笠貫 宏, 細田瑳一, 小柳 仁, 北島 顕, 桜井正之, 安田慶秀, 松居喜郎, 平盛勝彦, 千葉直樹, 川副浩平, 八木葉子, 山口 巖, 三井利

- 夫, 早川弘一, 加藤貴雄, 田中茂夫, 新田 隆, 柴田 昭, 相澤義房, 林 純一, 渡辺 弘, 伊藤昭男, 坪井直也, 田島一喜, 井上 博, 三崎拓郎, 鎌倉史朗, 栗田隆志, 小坂井嘉夫, 松田暉, 松浦雄一郎, 泰江弘文, 奥村謙, 宮内好正: 心室性頻脈性不整脈に対する第4世代植え込み型除細動器—Jewel Plus 7220型の有用性の検討—. 不整脈 14: 295-308, 1998.
- 12) 田中茂夫, 早川弘一, 安田慶秀, 松居喜郎, 桜井正之, 三井利夫, 軸屋智昭, 山口 巖, 小柳仁, 笠貫 宏, 細田瑛一, 川田志明, 四津良平, 小川 聡, 宮崎利久, 三崎拓郎, 井上 博, 藤木明, 小坂井嘉夫, 下村克朗, 栗田隆志, 松田暉, 堀 正二, 星田四郎, 松浦雄一郎, 末田泰二郎, 梶山梧朗, 松浦秀夫, 安井久喬, 川内義人, 竹下彰, 橋木晶子: 致死性不整脈に対する第4世代植え込み型除細動器—VENTAK-MINI植え込み型除細動器の効果と安全性—. 不整脈 14: 309-321, 1998.
- 13) 杉本恒明, 赤塚宣治, 井上 博: 塩酸エホニジピンの狭心症に対する使用経験. 薬理と臨床 8: 559-575, 1998.
- 14) 朝倉哲彦, 中村克己, 八代一孝, 清水弘之, 石島武一, 大槻泰介, 吉本高志, 平 孝臣, 河村弘庸, 高倉公朋, 森竹浩三, 堀 智勝, 種子田護, 井上 博: 難治てんかんに対する迷走神経刺激法. 新しい医療機器研究 5: 7-18, 1998.
- 15) 井上 博, 朝倉哲彦, 中村克己, 八代一孝, 清水弘之, 石島武一, 大槻泰介, 吉本高志, 平 孝臣, 河村弘庸, 高倉公朋, 森竹浩三, 堀 智勝, 種子田護: 難治てんかん, とくに部分発作に対する迷走神経刺激装置(ニューロサイバネティックプロステシス)による治療の安全性: ホルター心電図による解析. 新しい医療機器研究 5: 19-27, 1998.
- 16) 藤木 明, 碓井雅博, 林 秀樹, 水牧功一, 井上 博: 頻拍中の心房最早期興奮部位がKoch三角の中間に位置する房室結節回帰頻拍. 臨床心臓電気生理 21: 1-8, 1998.
- 17) 三羽邦久, 井川晃彦, 中川圭子, 平井忠和, 井上 博: 前壁梗塞例における運動負荷時陰性U波による冠動脈病変と心筋viabilityの診断. 循環器科 43: 272-276, 1998.
- 18) 高嶋修太郎, 平出 聡, 井上 博, 栗本昌紀, 遠藤俊郎: MELASにおけるstroke-like episodesの脳循環動態. 脳循環代謝 10: 218-219, 1998.
- 19) 能澤 孝, 林 史朗, 内記三郎, 新谷憲治, 麻野井英次, 井上 博: 抗凝固療法の指標としてのInternational Normalized Ratioとトロンボテストの施設間差. J. Cardiol. 32: 89-94, 1998.
- 20) 藤田正俊, 江尻倫昭, 新家悦朗, 神保正樹, 平岡勇二, 大野 晃, 三羽邦久, 木原康樹: 経皮吸収型ニトログリセリン製剤の耐性—パッチ製剤とテープ製剤の比較—. 医学と薬学 39: 787-791, 1998.
- 21) 碓井雅博, 加藤和三, 井上 博: 心室期外収縮の治療効果判定に自覚症状の改善は有用な指標となるか? 心電図 18: 824-829, 1998.
- ◆ 症例報告
- 1) 高嶋修太郎, 平出 聡, 田口芳治, 井上 博: 多発神経炎に併発した悪性症候群の1例—筋強剛と血清creatin kinase上昇の発現機序—. 臨床神経 38: 955-957, 1998.
- 2) 碓井雅博, 藤木 明, 水牧功一, 林 秀樹, 長澤秀彦, 井上 博: ピルジカイニド投与により右側胸部誘導にST上昇を生じた発作性心房粗・細動の3例. 循環器科 44: 389-394, 1998.
- 3) 碓井雅博, 藤木 明, 水牧功一, 長澤秀彦, 城宝秀司, 富田 新, 井上 博: 血液透析・濾過中にtorsade de pointesを生じた2症例. 心臓 30 (Suppl. 4): 74-78, 1998.
- 4) 原 元彦, 岡部多加志, 野平 修, 福田倫也, 田口芳治, 濱口勝彦: Fluconazole, flucytosine併用療法が有効であった高齢者クリプトコッカス髄膜炎の1例. 神経治療学 15: 401-405, 1998.
- 5) 田口芳治, 原 元彦, 岡部多加志, 野平 修, 福田倫也: 胸腺腫摘除術後に発症した高齢者重症筋無力症の1例. 神経内科 49: 289-292, 1998.
- 6) 小川浩平, 高嶋修太郎, 平出 聡, 二村明広, 上野 均, 井上 博: 腹膜透析の経過中に肝性脳症を呈した成人発症II型シトルリン血症の1例. 臨床神経 38: 826-830, 1998.
- ◆ 総 説
- 1) Inoue H.: Can chemical ablation of ventricular myocardium with ethanol surpass radiofrequency catheter ablation? J. Cardiovasc. Electrophysiol. 9:985-987, 1998.
- 2) Miwa K.: Vitamin E deficiency in coronary artery spasm. Mature Medicine Canada March/April:19-21, 1998.
- 3) 井上 博: 心不全例の不整脈治療の実際—薬剤選択・治療期間の具体的めやす— 突然死の予防. Cardiac Practice 9: 85-89, 1998.
- 4) 井上 博: Ic群抗不整脈薬 薬物治療の現状

- と課題. 治療学 32 : 573-577, 1998.
- 5) 井上 博 : 不整脈の介入試験 (二次予防). 循環科学 18 : 934-936, 1998.
 - 6) 井上 博 : 自律神経がVT, VFの発生に及ぼす影響について. Heart View 2 : 778-783, 1998.
 - 7) 井上 博 : 心房粗動. 治療 80 : 424-425, 1998.
 - 8) 井上 博 : 循環器教育セッション I, 頻拍性不整脈の治療 : ガイドライン 心房細動. 循環器専門医 5 (Suppl. II) : 22-25, 1998.
 - 9) 井上 博 : 巻頭言 : ペースメーカー治療の最前線. Heart View 2 : 8-9, 1998.
 - 10) 井上 博 : 質疑応答 運動で誘発される心房細動発作への対処法. 日本醫事新報 3894 : 122-123, 1998.
 - 11) 井上 博 : 心電図検査. 日本医師会雑誌 120 : S101-S105, 1998.
 - 12) 井上 博, 三羽邦久, 亀山智樹, 藤木 明, 平井忠和, 能澤 孝 : 内科—この1年の進歩 : 心疾患. 内科 82 : 1002-1009, 1998.
 - 13) 高田正信 : Ca拮抗薬 (特集=降圧薬を用いた高血圧の治療). Medicament News 1574 : 4-6, 1998.
 - 14) 高田正信 : 高血圧治療と臓器保護. ひみ医師会報 34 : 4, 1998.
 - 15) 高田正信, 平井 晃, 供田文宏, 安本耕太郎, 三川正人 : 労働環境と血圧. 日本災害医学会雑誌 46 : 303-308, 1998.
 - 16) 麻野井英次 : 心不全における自律神経機能—評価法と臨床的意義. Medical Practice 15 : 1703-1706, 1998.
 - 17) 麻野井英次 : 私のストラテジー : 心不全治療の選択と新知見の影響. 心臓病NEWS & NEWS 8 : 20-21, 1998.
 - 18) 麻野井英次, 五艘有紀子, 石瀬久也, 高嶋修太郎, 井上 博 : 心不全と自律神経機能異常. 自律神経 35 : 343-349, 1998.
 - 19) 藤木 明 : 質疑応答 心電図T波の病態. 日本醫事新報 3893 : 106-107, 1998.
 - 20) 藤木 明, 井上 博 : ICDと今後の展望. Cardiologist 3 : 593-598, 1998.
 - 21) 藤木 明, 井上 博 : 自律神経の変調と不整脈. Current Therapy 16 : 282-286, 1998.
 - 22) 藤木 明, 井上 博 : 心房細動に対する抗不整脈薬の適応と使い分け. Cardiac Practice 9 : 293-298, 1998.
 - 23) 藤木 明, 井上 博 : ペースメーカー事故の対応. 臨床医 24 : 1434-1439, 1998.
 - 24) 三羽邦久, 山田多香子, 湯浅ゆき子 : 冠攣縮性狭心症 内科的治療. HEART nursing 11 : 122-130, 1998.
 - 25) 高嶋修太郎 : 急速な四肢麻痺. Medicina 35 : 157-159, 1998.
 - 26) 能澤 孝, 井上 博 : β 遮断薬. 日本臨牀 56 : 154-158, 1998.
 - 27) 亀山智樹, 井上 博 : 循環器内科領域におけるカテコラミン製剤の使い方. Pharma Medica 16 : 99-104, 1998.
 - 28) 平井忠和, 井上 博 : 心電図診断. 日本臨牀 56 : 2561-2568, 1998.
 - 29) 平井忠和, 井上 博 : ACS研究の進歩—診断学— : 心電図診断. 日本臨牀 56 : 2561-2568, 1998.
 - 30) 碓井雅博, 井上 博 : 心房細動, 心房粗動の治療. 臨床と薬物治療 17 : 26-29, 1998.
 - 31) 碓井雅博, 井上 博 : 検査値活用マニュアル : 不整脈. 内科 81 : 1090-1091, 1998.
 - 32) 水牧功一, 井上 博 : 発作性心房細動に対する発作の停止法と予防法. Medical Practice 15 : 977-981, 1998.
 - 33) 水牧功一, 井上 博 : 抗不整脈薬の分類—Vaughan Williams分類とSicilian Gambit的アプローチ—. 治療薬 3・4 : 27-31, 1998.
 - 34) 水牧功一, 井上 博 : 成人病治療への挑戦, カテーテルアブレーション. 臨床成人病 28 : 63-68, 1998.
 - 35) 平岡勇二, 井上 博 : [目で見る臨床経過] 拡張型心筋症に類似し、心筋の著明な線維化を認めた心不全の1例. Heart View 2 : 252-258, 1998.
 - 36) 長澤秀彦, 林 秀樹, 水牧功一, 井上 博 : 心室性不整脈と自律神経機能. 内科 82 : 4-9, 1998.
- ◆ 学会報告
- 1) Tomoda F., Takata M., Yasumoto K., Ueno H., Tomita S., and Inoue H.: Abnormal structural changes of renal vasculature in prehypertensive Dahl salt-sensitive rats. 17th International Society of Hypertension Meeting, 1998, 6, Amsterdam.
 - 2) Yasumoto K., Takata M., Tomita S., Ueno H., Tomoda F., and Inoue H.: Relation of circulating blood volume to left ventricular geometry in essential hypertension. 17th International Society of Hypertension Meeting, 1998, 6, Amsterdam.
 - 3) Takata M., Tomoda F., Yasumoto K.,

- Tomita S., Ueno H., and Inoue H.: Effects of calcium antagonist, benidipine, hydrochloride, on platelet responses to mental stress in essential hypertension. 17th International Society of Hypertension Meeting, 1998, 6, Amsterdam.
- 4) Tomita S., Ueno H., Tomoda F., Yasumoto K., Takata M., and Inoue H.: Assessment of left ventricular geometric patterns in essential hypertension by standard 12 lead ECG. 17th International Society of Hypertension Meeting, 1998, 6, Amsterdam.
 - 5) Taguchi Y., Hara M., Okabe T., Nohira O., Fukuda M., and Hamaguchi K.: An analysis of P300 in patients with myotonic dystrophy. 9th International Congress on Neuromuscular Diseases, 1998, 9, Adelaide.
 - 6) Mizumaki K., Fujiki A., Usui M, Hayashi H., and Inoue H.: Malignant neurally mediated syncope with long asystole is an important cause of unexplained convulsive syncope. 71st Scientific Sessions of American Heart Association, 1998, 11, Dallas.
 - 7) Igawa A., Nozawa T., Fujii N., Yoshida N., Asanoi H., and Inoue H.: Effects of long-term renal denervation on ventricular remodeling after myocardial infarction in rats. 71st Scientific Sessions of American Heart Association, 1998, 11, Dallas.
 - 8) Hirai T., Takashima S., Shinokawa N., Nakagawa K., Hirade S., Taguchi Y., Kameyama T., Asanoi H., and Inoue H.: Relation between subtypes of cerebral infarction and transesophageal echocardiographic findings in patients with atrial fibrillation: An MRI study. World Congress on Cerebral Embolism, 1998, 11, New Orleans.
 - 9) Nakagawa Y., Takata M., Futamura A., Tomoda F., Yasumoto K., Inoue H., and Izumino K.: Usefulness of slow continuous ultra-filtration in patients with regimen-resistant congestive heart failure. 4th Japan-France Nephrology Exchange Association Symposium, 1998, 11, 金沢.
 - 10) Miwa K., and Inoue H.: Vitamin E and coronary spasm. The International Symposium on Coronary Artery Spasm, 1998, 12, 神戸.
 - 11) 麻野井英次, 五艘有紀子, 城宝秀司, 亀山智樹, 平井忠和, 能澤 孝, 井上 博: 中枢性交感神経遮断による慢性心不全治療. 第62回日本循環器学会総会, 1998, 3, 東京.
 - 12) 藤木 明, 碓井雅博, 谷 昌尚, 長澤秀彦, 水牧功一, 井上 博: 心室細動における心室興奮波の経時的変化: 周波数解析による検討. 第62回日本循環器学会総会, 1998, 3, 東京.
 - 13) 三羽邦久: 冠動脈トームス異常としての冠攣縮. 第62回日本循環器学会総会 ランチョンセミナー, 1998, 3, 東京.
 - 14) 三羽邦久, 井川晃彦, 中川圭子, 平井忠和, 井上 博: 異型狭心症例における冠循環中のビタミンEと可溶性接着分子濃度の変化について. 第62回日本循環器学会総会, 1998, 3, 東京.
 - 15) 井川晃彦, 能澤 孝, 吉田尚弘, 藤井 望, 麻野井英次, 井上 博, 井上 実: 心筋梗塞後の心臓交感神経機能および β -受容体の経時的変化と心筋内分布. 第62回日本循環器学会総会, 1998, 3, 東京.
 - 16) 吉田尚弘, 能澤 孝, 井川晃彦, 藤井 望, 藤木 明, 麻野井英次, 井上 博, 瀬戸 光: MIBG無集積例における心室再分極過程-QT dispersionおよびQT-RR関係による検討. 第62回日本循環器学会総会, 1998, 3, 東京.
 - 17) 石瀬久也, 麻野井英次, 五艘有紀子, 城宝秀司, 石坂真二, 亀山智樹, 井上 博: 慢性心不全における心拍・血圧変動の相互関係: 心不全重症度との関連性. 第62回日本循環器学会総会, 1998, 3, 東京.
 - 18) 篠川宣子, 平井忠和, 高嶋修太郎, 平岡勇二, 麻野井英次, 井上 博: 心原性塞栓症予知に関する経食道心エコー図の有用性と抗凝固療法の効果. 第62回日本循環器学会総会, 1998, 3, 東京.
 - 19) 城宝秀司, 麻野井英次, Hosam A. R. Ibrahim, 井川晃彦, 平岡勇二, 亀山智樹, 能澤 孝, 井上 博: PTCAによる急性冠閉塞時の交感神経活動: Wavelet解析による検討. 第62回日本循環器学会総会, 1998, 3, 東京.
 - 20) 五艘有紀子, 麻野井英次, 城宝秀司, 石瀬久也, 亀山智樹, 平井忠和, 能澤 孝, 高嶋修太郎, 井上 博: 心不全における低周波心拍・血圧変動の成因: 呼吸変動と交感神経活動の重要性. 第62回日本循環器学会総会, 1998, 3, 東京.
 - 21) 中川圭子, 平井忠和, 篠川宣子, 高嶋修太郎, 井上 博: 心房細動波高の臨床的重要性 経食道

- 心エコー図から見た検討. 第62回日本循環器学会総会, 1998, 3, 東京.
- 22) 藤木 明, 碓井雅博, 水牧功一, 長澤秀彦, 林秀樹, 井上 博, 三崎拓郎: 心房細動興奮波の周波数解析による臨床的検討. 第62回日本循環器学会総会, 1998, 3, 東京.
- 23) 藤木 明, 碓井雅博, 水牧功一, 林 秀樹, 長澤秀彦, 井上 博, 三崎拓郎: 心房細動における心房興奮波の空間的類似性定量評価の試み. 第62回日本循環器学会総会, 1998, 3, 東京.
- 24) 亀山智樹, 麻野井英次, Hosam A. R. Ibrahim, 城宝秀司, 井川晃彦, 平岡勇二, 井上 博: 高血圧性肥大心における Gregg 現象の亢進. 第62回日本循環器学会総会, 1998, 3, 東京.
- 25) 平岡勇二, 高田 均, 井上 博, 岡田英吉, 新村哲夫: 必須微量元素セレンの欠乏によるグルタチオンペルオキシダーゼ活性の低下はC3H/Heマウスに心筋微小循環障害を誘発する. 第62回日本循環器学会総会, 1998, 3, 東京.
- 26) 林 秀樹, 藤木 明, 谷 昌尚, 碓井雅博, 水牧功一, 下野真由美, 長澤秀彦, 井上 博: 右室流出路起源心室期収縮の連発数からみた日内変動の違い. 第62回日本循環器学会総会, 1998, 3, 東京.
- 27) 藤木 明, 碓井雅博, 水牧功一, 長澤秀彦, 林秀樹, 井上 博: 右心房分界稜の伝導特性と局所リエントリーの発生: 20極電極による臨床的検討. 第62回日本循環器学会総会, 1998, 3, 東京.
- 28) 三羽邦久, 井川晃彦, 中川圭子, 平井忠和, 井上 博: 前壁梗塞例における運動負荷時前胸部誘導陰性U波は良好な側副血行循環の発達を伴った冠動脈病変と心筋viabilityの指標となる. 第62回日本循環器学会総会, 1998, 3, 東京.
- 29) 能澤 孝, 井川晃彦, 吉田尚弘, 藤井 望, 井上 実, 麻野井英次, 井上 博: 高血圧性心不全におけるアンジオテンシンII受容体拮抗薬の心不全進展抑制作用: 心臓交感神経機能-β受容体からの検討. 第62回日本循環器学会総会, 1998, 3, 東京.
- 30) 碓井雅博, 井上 博, 加藤和三: 心室期外収縮の治療効果判定に自覚症状の改善は有用な指標となるか?. 第62回日本循環器学会総会, 1998, 3, 東京.
- 31) 長澤秀彦, 藤木 明, 碓井雅博, 水牧功一, 林秀樹, 下野真由美, 井上 博: QT-RR回帰直線の傾き: 徐拍時と頻拍時の二つの成分における男女差. 第62回日本循環器学会総会, 1998, 3, 東京.
- 32) 吉田繁樹, 秋山 眞, 和田 攻, 藤木 明, 井上 博: 健康壮年期男性の自律神経活動の特徴-夜間睡眠中のホルター心電図心拍変動解析による検討-. 第62回日本循環器学会総会, 1998, 3, 東京.
- 33) 井上 博, 林 秀樹, 水牧功一, 藤木 明: 非虚血性心室頻拍と自律神経活動の関連: 心拍変動による解析. 第62回日本循環器学会総会 シンポジウム, 1998, 3, 東京.
- 34) 井上博: β遮断薬: その予後改善メカニズムを探る. 心拍調節の観点から. 第62回日本循環器学会総会 ファイアサイドセミナー, 1998, 3, 東京.
- 35) 亀山智樹, 平井忠和, 中川圭子, 小幡賢子, 麻野井英次, 井上博: 狭心症を合併する大動脈弁閉鎖不全症における拡張期心室壁厚動態. 第9回日本心エコー図学会, 1998, 4, 名古屋.
- 36) 篠川宣子, 平井忠和, 亀山智樹, 高嶋修太郎, 中川圭子, 麻野井英次, 井上 博: 高齢者心房細動例における脳梗塞の特徴とその危険因子の予測; 若年者との比較検討. 第9回日本心エコー図学会, 1998, 4, 名古屋.
- 37) 中川優子, 菅原秀徳, 二村明広, 供田文宏, 安本耕太郎, 高田正信, 井上博, 泉野潔: 重症心不全を合併し、透析困難症を呈する腎不全例におけるCAPD療法前後での血行動態. 第41回日本腎臓学会学術総会, 1998, 5, 東京.
- 38) 供田文宏, 高田正信, 安本耕太郎, 上野 均, 富田 新, 井上 博: 本態性高血圧患者における塩酸ベニジピンの血小板機能に及ぼす影響-安静時及びストレス下での検討. 第41回日本腎臓学会学術総会, 1998, 5, 東京.
- 39) 安本耕太郎, 高田正信, 富田 新, 上野 均, 供田文宏, 井上 博: 本態性高血圧症における左室形態と循環血流量との関係. 第41回日本腎臓学会学術総会, 1998, 5, 東京.
- 40) 菅原秀徳, 二村明広, 中川優子, 高田正信, 井上 博, 泉野 潔: 腎除神経の腎糸球体におよぼす影響: 正常ラットにおける検討. 第41回日本腎臓学会学術総会, 1998, 5, 東京.
- 41) 平出 聡, 高嶋修太郎, 井上 博: 心房細動の経過観察中に発症した脳梗塞の臨床像の検討. 第39回日本神経学会総会, 1998, 5, 京都.
- 42) 田口芳治, 福田倫也, 原 元彦, 野平 修, 岡部多加志, 濱口勝彦: 皮質枝梗塞でPure motor monoparesisを呈した7例の検討. 第39回日本神

- 経学会総会, 1998, 5, 京都.
- 43) 碓井雅博, 林 秀樹, 谷 昌尚, 長澤秀彦, 水牧功一, 藤木 明, 井上 博: 冠動脈洞入口部でのカテーテル焼灼は房室結節への迷走神経活動を傷害する. 第13回日本心臓ペースング電気生理学学会学術大会, 1998, 5, 東京.
- 44) 水牧功一, 藤木 明, 碓井雅博, 林 秀樹, 下野真由美, 長澤秀彦, 井上 博: Neurally mediated syncope患者のhead-up tilt早期の心拍数の変化-head up tilt陽性例の予測因子としての意義一. 第13回日本心臓ペースング電気生理学学会学術大会, 1998, 5, 東京.
- 45) 長澤秀彦, 藤木 明, 碓井雅博, 水牧功一, 林秀樹, 下野真由美, 井上 博: 発作性心房細動の自然停止時における自律神経活動の役割. 第13回日本心臓ペースング電気生理学学会学術大会, 1998, 5, 東京.
- 46) 菅原秀徳, 二村明広, 高田正信, 井上 博, 泉野 潔: 低温透析が有効であった透析低血圧の3症例. 第43回日本透析医学会学術集会総会, 1998, 5, 横浜.
- 47) 中川優子, 二村明広, 富田 新, 供田文宏, 安本耕太郎, 高田正信, 井上 博, 泉野 潔: 重症心不全における持続的血液濾過法 (CHF) ; 適応と予後. 第43回日本透析医学会学術集会総会, 1998, 5, 横浜.
- 48) 富田 新, 中川優子, 二村明広, 上野 均, 供田文宏, 安本耕太郎, 泉野 潔, 高田正信, 井上博: 心筋梗塞による高度心機能低下、低血圧と心室細動を認めた透析困難症例. 第43回日本透析医学会学術集会総会, 1998, 5, 横浜.
- 49) 高嶋修太郎, 平出 聡, 田口芳治, 平井忠和, 中川圭子, 篠川宣子, 井上 博: 心疾患における脳梗塞の合併に関する研究 (第4報) - 心房細動における頭部MRI所見一. 第23回日本脳卒中学会総会, 1998, 6, 札幌.
- 50) 藤井 望, 能澤 孝, 吉田尚弘, 井川晃彦, 城宝秀司, 麻野井英次, 井上 博: MIBG無集積例の運動時左室応答及び心拍変動解析-早期像における集積の有無による差異. 第46回日本心臓病学会学術集会, 1998, 9, 東京.
- 51) 三羽邦久, 中川圭子, 井上 博: 冠攣縮患者における'midband'リポ蛋白の検出頻度について. 第46回日本心臓病学会学術集会, 1998, 9, 東京.
- 52) 亀山智樹, 麻野井英次, Hosam A. R. Ibrahim, 平井忠和, 井上 博: 左室収縮期回転運動: 左室収縮拡張機能との対比. 第46回日本心臓病学会学術集会, 1998, 9, 東京.
- 53) 中川圭子, 平井忠和, 篠川宣子, 亀山智樹, 麻野井英次, 井上 博: 三次元経食道心エコー図法による左心耳形態の評価. 第46回日本心臓病学会学術集会, 1998, 9, 東京.
- 54) 吉田尚弘, 能澤 孝, 井川晃彦, 藤井 望, 藤木 明, 麻野井英次, 井上 博: MIBG無集積症例における安静時および運動時QT dispersionについて. 第46回日本心臓病学会学術集会, 1998, 9, 東京.
- 55) 城宝秀司, 麻野井英次, Hosam A. R. Ibrahim, 井川晃彦, 平岡勇二, 亀山智樹, 能澤 孝, 井上博: 呼吸性心拍変動に關与する左室圧変動の周波数依存性. 第46回日本心臓病学会学術集会, 1998, 9, 東京.
- 56) 富田 新, 高田正信, 安本耕太郎, 鍵谷聡志, 絹野裕之, 供田文宏, 井上 博: 未治療本態性高血圧症のQT dispersion: 左室形態頸動脈, 細動脈構造異常 体液因子との関係. 第21回日本高血圧学会総会, 1998, 9, 広島.
- 57) 供田文宏, 高田正信, 絹野裕之, 鍵谷聡志, 富田 新, 安本耕太郎, 井上 博: Dahl食塩感受性ラットにおける高血圧発症に伴う糸球体と腎内抵抗血管の構造特性の変化. 第21回日本高血圧学会総会, 1998, 9, 広島.
- 58) 林 秀樹, 藤木 明, 碓井雅博, 水牧功一, 下野真由美, 長澤秀彦, 井上 博: 右室流出路起源心室期外収縮の日内変動: β 遮断薬による影響. 第15回日本心電学会, 1998, 10, 鹿児島.
- 59) 下野真由美, 和田 攻, 藤木 明, 谷 昌尚, 碓井雅博, 水牧功一, 林 秀樹, 長澤秀彦, 井上博: QT-RR関係の年齢、性による特徴: QT-RR slopeの変化について. 第15回日本心電学会, 1998, 10, 鹿児島.
- 60) 長澤秀彦, 藤木 明, 碓井雅博, 水牧功一, 下野真由美, 林 秀樹, 井上 博, 渡辺 剛, 三崎拓郎: ICD装着後の抗不整脈薬療法. 第15回日本心電学会, 1998, 10, 鹿児島.
- 61) 藤木 明, 下野真由美, 井上 博, 市田路子: QT延長症候群のTDP発生時における自律神経: 交感神経緊張状態における徐脈が発作の誘因. 第15回日本心電学会 ファイアサイドシンポジウム, 1998, 10, 鹿児島.
- 62) 二村明広, 中川優子, 菅原秀徳, 高井みずほ, 供田文宏, 安本耕太郎, 高田正信, 井上 博, 泉野 潔: 紫斑, 消化管出血, ネフローゼ症候群を呈し, 顕微鏡的血管炎と考えられた1例. 第28回

- 日本腎臓学会西部学術大会, 1998, 10, 奈良.
- 63) 中川優子, 二村明広, 供田文宏, 安本耕太郎, 高田正信, 井上 博, 泉野 潔: 胃癌摘出後に腎機能の改善が見られた急速進行性糸球体腎炎 (RPGN) の1例. 第28回日本腎臓学会西部学術大会, 1998, 10, 奈良.
- 64) 富田 新, 中川優子, 二村明広, 供田文宏, 安本耕太郎, 泉野 潔, 上野 均, 高田正信, 井上博: 一過性の低Na血症を呈し, 傍糸球体装置の著明な過形成を認めた微小変化型ネフローゼ症候群の1例. 第28回日本腎臓学会西部学術大会, 1998, 10, 奈良.
- 65) 高井みずほ, 織田慶孝, 中川優子, 二村明広, 供田文宏, 安本耕太郎, 高田正信, 井上 博, 泉野 潔, 寺田康人: 巣状糸球体硬化症を合併した末端肥大症の1例. 第28回日本腎臓学会西部学術大会, 1998, 10, 奈良.
- 66) 鍵谷聡志, 高田正信, 供田文宏, 織田慶孝, 富田 新, 安本耕太郎, 井上 博, 竹田慎一: 経皮的腎動脈形成術 (PTR) が奏功した1腎性1クリップ型の腎血管性高血圧の2例. 第28回日本腎臓学会西部学術大会, 1998, 10, 奈良.
- 67) Gosou Y., Asanoi H., Takagawa J., Ishise H., Kameyama T., Nozawa T., Takashima S., and Inoue H.: Respiratory suppression of sympathetic nerve activity in patients with chronic heart failure. 第2回日本心不全学会, 1998, 10, 札幌.
- 68) Hirai T., Nakagawa K., Takashima S., Shinokawa N., Kameyama T., Asanoi H., and Inoue H.: Atrial natriuretic peptide as a risk of thromboembolism in patients with chronic heart failure. 第2回日本心不全学会, 1998, 10, 札幌.
- 69) 五艘有紀子, 麻野井英次, 石瀬久也, 高嶋修太郎, 井上 博, 梅野克身, 西条寿夫: 交感神経活動の指標としての血圧変動の特異性: 左室機能による差異. 第51回日本自律神経学会総会, 1998, 11, 東京.
- 70) 野々村誠, 水牧功一, 平岡勇二, 平井忠和, 能澤 孝, 麻野井英次, 井上 博, 山本正和: 著明な肺高血圧症が持続した慢性肺血栓塞栓症の1例. 第90回日本循環器学会北陸地方会, 1998, 2, 金沢.
- 71) 平出 聡, 高嶋修太郎, 井上 博, 野口 京: MRI造影効果を伴う腫脹を呈したmultiple cranial mononeuropathyの1例. 第90回日本神経学会東海北陸地方会, 1998, 2, 名古屋.
- 72) 田口芳治, 高嶋修太郎, 平出 聡, 井上 博, 霜田光義: 門脈大循環シャント遮断術によりMRI所見が改善した肝性脳症の1例. 第91回日本神経学会東海北陸地方会, 1998, 6, 名古屋.
- 73) 北沢 勉, 高嶋修太郎, 桜井健二, 平出 聡, 田口芳治, 高田正信, 井上 博: 円錐症候群による尿閉を初発症状とした急性散在性脳脊髄炎の1例. 第175回日本内科学会北陸地方会, 1998, 6, 金沢.
- 74) 堀 宏之, 笹岡利安, 小林 正, 高嶋修太郎: MRIで小脳にび慢性の病変を確認できた小脳炎の1例. 第175回日本内科学会北陸地方会, 1998, 6, 金沢.
- 75) 浅岡悦子, 高嶋修太郎, 田口芳治, 平出 聡, 高田正信, 井上 博: アシクロビルの投与により腎機能障害を併発したHSV脳幹脳炎の1例. 第175回日本内科学会北陸地方会, 1998, 6, 金沢.
- 76) 松木 晃, 林 典子, 中川優子, 碓井雅博, 能澤 孝, 麻野井英次, 高田正信, 井上 博, 泉野 潔: ステロイド療法により肺高血圧症が軽快した全身性エリテマトーデスの1例. 第175回日本内科学会北陸地方会, 1998, 6, 金沢.
- 77) 井川晃彦, 城宝秀司, 神保正樹, 吉田尚弘, 水牧功一, 能澤 孝, 藤木 明, 麻野井英次, 井上博: 心原性ショック後に広範なMIBG集積欠損を呈したQT延長症候群の1例. 第91回日本循環器学会北陸地方会, 1998, 7, 富山.
- 78) 五艘有紀子, 麻野井英次, 高川順也, 石瀬久也, 亀山智樹, 平井忠和, 能澤 孝, 井上 博: PTMC施行例の長期経過: 運動負荷試験による検討. 第91回日本循環器学会北陸地方会, 1998, 7, 富山.
- 79) 中館照雄, 藤木 明, 水牧功一, 碓井雅博, 長澤秀彦, 井上 博, 渡辺 剛, 三崎拓郎: 上室性不整脈の管理に難渋した第4世代ICD装着症例. 第91回日本循環器学会北陸地方会, 1998, 7, 富山.
- 80) 松木 晃, 藤木 明, 長澤秀彦, 水牧功一, 碓井雅博, 井上 博: 冠静脈洞開口部へのアブレーションが有効であったA型WPW症候群. 第91回日本循環器学会北陸地方会, 1998, 7, 富山.
- 81) 浅岡悦子, 高嶋修太郎, 田口芳治, 平出 聡, 高田正信, 井上 博: 高齢者に発症したリステリア髄膜炎の1例. 第176回日本内科学会北陸地方会, 1998, 9, 富山.
- 82) 織田慶孝, 供田文宏, 二村明広, 藤井 望, 泉

- 野 潔, 高嶋修太郎, 高田正信, 井上 博: 著明な下腿浮腫を初発症状としたサルコイドーシスの1例. 第176回日本内科学会北陸地方会, 1998, 9, 富山.
- 83) 野々村誠, 水牧功一, 篠川宣子, 五艘有紀子, 亀山智樹, 平井忠和, 能澤 孝, 麻野井英次, 井上 博, 渡辺 剛, 三崎拓郎: 救命し得た心筋梗塞後心室中隔穿孔の1例: 術後遺残短路の経過. 第176回日本内科学会北陸地方会, 1998, 9, 富山.
- 84) Hosam A. R. Ibrahim, 麻野井英次, 高川順也, 五艘有紀子, 石瀬久也, 亀山智樹, 平井忠和, 能澤 孝, 井上 博: 心房細動例における心周期から動脈圧への動的伝達特性の解析. 日本循環器学会第107回東海・第92回北陸合同地方会, 1998, 10, 金沢.
- 85) 下野真由美, 藤木 明, 長澤秀彦, 水牧功一, 碓井雅博, 井上 博: Torsades de pointes発作時のQT時間と心拍数の関係. 日本循環器学会第107回東海・第92回北陸合同地方会, 1998, 10, 金沢.
- 86) 長澤秀彦, 藤木 明, 水牧功一, 碓井雅博, 井上 博: イヌ心房細動の心房興奮周期と心房不応期の関係: 細動波の周波数解析による検討. 日本循環器学会第107回東海・第92回北陸合同地方会, 1998, 10, 金沢.
- 87) 田口芳治, 高嶋修太郎, 平出 聡, 井上 博: 細菌性髄膜炎による血管炎のMRAによる経過. 第92回日本神経学会東海北陸地方会, 1998, 10, 福井.
- 88) 土田倫子, 河岸由紀男, 佐藤 啓, 小林 正, 高嶋修太郎: 糖尿病患者に発症したhemichorea-hemiballismの一例—髄液所見とSPECT所見の特徴—. 第92回日本神経学会東海北陸地方会, 1998, 10, 福井.
- ◆ その他
- 1) 長澤秀彦, 藤木 明, 碓井雅博, 水牧功一, 林秀樹, 井上 博: 右心房分界稜の20極電極による臨床電気生理学的検討: 局所リエントリーの発生. 第10回臨床不整脈研究会, 1998, 1, 東京.
- 2) 三羽邦久, 井川晃彦, 中川圭子, 平井忠和, 井上 博: 前壁梗塞例における運動負荷時前胸部誘導陰性U波による冠動脈病変と心筋viabilityの予測. 第45回循環器負荷研究会, 1998, 2, 東京.
- 3) 藤井 望, 能澤 孝, 吉田尚弘, 井川晃彦, 麻野井英次, 井上 博, 清水正司, 瀬戸 光: MI-BG無集積例の運動時左室応答—早期像における集積の有無による差異. 第19回心臓核医学研究会, 1998, 5, 東京.
- 4) 三羽邦久: 喫煙と生活習慣病を考える. 喫煙と冠動脈疾患. 世界禁煙デー記念シンポジウム, 1998, 6, 富山.
- 5) 富田 新, 安本耕太郎, 中川優子, 二村明広, 供田文宏, 泉野 潔, 高田正信, 井上 博: 陶器様胆嚢を認めた血液透析導入患者の1例. 第28回富山県腎疾患・人工透析研究会, 1998, 6, 富山.
- 6) 中川圭子, 平井忠和, 篠川宣子, 小幡賢子, 亀山智樹, 高嶋修太郎, 麻野井英次, 井上 博: 心原性塞栓症の発症危険因子としての心房細動波高の意義. 第5回北陸循環器超音波研究会, 1998, 6, 金沢.
- 7) 三羽邦久, 中川圭子, 吉田尚弘, 井上 博: 冠攣縮患者における心筋梗塞発症の危険因子としてのリボ蛋白(a)の意義. 第18回心筋梗塞研究会, 1998, 7, 東京.
- 8) 田口芳治: 最近当科で経験した多発脳神経障害の鑑別診断と治療方針. 第19回富山県臨床神経研究会, 1998, 7, 富山.
- 9) 山崎継敬, 平出 聡, 野口 京, 清水正司: 数年間無症状で経過し, 脳腫瘍が疑われる症例の特異な画像所見. 第19回富山県臨床神経研究会, 1998, 7, 富山.
- 10) 吉田尚弘, 能澤 孝, 井川晃彦, 藤井 望, 水牧功一, 藤木 明, 麻野井英次, 井上 博, 清水正司, 瀬戸 光, 神保正樹: 心室細動後の123I-MIBG集積低下とQT dispersionが経時的に改善した一症例. 第30回北陸核医学研究会, 1998, 7, 金沢.
- 11) 高井みずほ, 織田慶孝, 中川優子, 二村明広, 供田文宏, 安本耕太郎, 高田正信, 井上 博, 泉野 潔, 寺田康人: 巣状糸球体硬化症を合併した末端肥大症の1例. 第39回中部糸球体腎臓談話会, 1998, 7, 名古屋.
- 12) 亀山智樹, 麻野井英次, 平井忠和, 石瀬久也, Hosam A. R. Ibrahim, 井上博: 左室収縮期回転運動: 左室収縮拡張機能指標との対比. 第6回北陸心不全研究会, 1998, 8, 金沢.
- 13) 五艘有紀子, 麻野井英次, 石瀬久也, 高川順也, 亀山智樹, 平井忠和, 能澤 孝, 高嶋修太郎, 井上 博: 心不全患者における呼吸様式と交感神経活動との関連性. 第46回循環器負荷研究会, 1998, 8, 東京.
- 14) 平井忠和, 麻野井英次, 五艘有紀子, 中川圭子, 亀山智樹, 井川晃彦, 小幡賢子, 石瀬久也, 高川順也, 能澤 孝, 井上 博: 経皮経静脈的僧帽弁

- 交連裂開術 (PTMC) の長期予後: 心エコー図所見による検討. 第32回中部循環研究会, 1998, 8, 名古屋.
- 15) 長澤秀彦, 藤木 明, 碓井雅博, 水牧功一, 井上 博: 心機能低下例における植込み型除細動器 (ICD) 装着後の抗不整脈薬療法. 第6回不整脈薬物療法研究会, 1998, 9, 札幌.
 - 16) 平出 聡, 時光善温, 田口芳治, 高嶋修太郎, 井上 博: 境界領域梗塞をdiffusion imageで確認し得た内頸動脈狭窄症の1例—カタクロットの治療効果を含めて—. 第6回富山県脳卒中研究会, 1998, 9, 富山.
 - 17) 亀山智樹, 麻野井英次, 平井忠和, 石瀬久也, Hosam A. R. Ibrahim, 井上 博: 左室収縮期回転運動とその不均一性: 左室収縮拡張機能指標との対比. 第5回関西心不全研究会, 1998, 10, 大阪.
 - 18) 長澤秀彦, 藤木 明, 碓井雅博, 水牧功一, 井上 博: アミオダロンが著効した発作性心房細動: Basket catheterによる電気生理学的検討. 第12回北陸不整脈薬物治療研究会, 1998, 10, 金沢.
 - 19) 高井みずほ, 菅生昌高, 鍵谷聡志, 絹野裕之, 菅原秀徳, 富田 新, 中川優子, 供田文宏, 安本耕太郎, 高田正信, 井上 博, 泉野 潔: Thrombotic microangiopathyの合併により, 腎不全に陥ったIgA腎症の1例. 第46回中部腎臓病談話会, 1998, 10, 名古屋.
 - 20) 長澤秀彦, 藤木 明, 碓井雅博, 水牧功一, 井上 博, 湖東慶樹, 渡辺 剛, 三崎拓郎: Maze手術後の心房内伝導様式: バスケットカテーテルによる検討. 第12回アブレーションカンファレンス, 1998, 10, 金沢.
 - 21) 長澤秀彦, 藤木 明, 林 秀樹, 水牧功一, 碓井雅博, 井上 博: 心停止を生じたWPW症候群に対するカテーテルアブレーション成功後再び心停止を認めた例. 第10回カテーテルアブレーション研究会, 1998, 10, 大坂.
 - 22) 井川晃彦, 能澤 孝, 藤井 望, 吉田尚弘, 麻野井英次, 井上 博: ラット心筋梗塞後左室リモデリングに及ぼす腎交感神経の影響—除神経による検討—. 第13回冠動脈・心不全研究会, 1998, 10, 京都.
 - 23) 五艘有紀子, 麻野井英次, 高川順也, 石瀬久也, 亀山智樹, 平井忠和, 能澤 孝, 高嶋修太郎, 井上 博: 心不全患者における低周波心拍・血圧変動と交感神経活動の関連性. 第20回カテコールミンと循環器系研究会, 1998, 10, 東京.
 - 24) 能澤 孝, 井川晃彦, 藤井 望, 吉田尚弘, 麻野井英次, 井上 博: ラット心筋梗塞後左室リモデリングに及ぼす腎交感神経の影響—除神経による検討—. 第13回冠動脈疾患・心不全研究会, 1998, 10, 京都.
 - 25) 高井みずほ, 鍵谷聡志, 絹野裕之, 富田 新, 中川優子, 菅原秀徳, 供田文宏, 安本耕太郎, 高田正信, 井上 博, 泉野 潔, 村石康博, 奥村昌央, 布施秀樹, 横川雅康, 鈴木 衛: 日本腎臓ネットワークによる献腎移植の1例. 第6回北陸腎疾患・血液浄化療法研究会, 1998, 10, 金沢.
 - 26) 田口芳治, 平出 聡, 高嶋修太郎, 土田倫子, 河岸由紀男, 小林 正: 糖尿病に併発したhemi-chorea-hemiballism. 第23回北陸パーキンソン病治療研究会, 1998, 11, 金沢.
 - 27) 長澤秀彦, 藤木 明, 林 秀樹, 水牧功一, 碓井雅博, 井上 博: 心停止を生じたWPW症候群に対するカテーテルアブレーション成功後再び心停止を認めICDを装着した例. 第11回心臓性急死研究会, 1998, 12, 東京.
 - 28) 平出 聡, 桜井健二, 田口芳治, 高嶋修太郎, 楠 進: 失調型ギランバレー症候群の1例. 第20回富山県臨床神経研究会, 1998, 12, 富山.
 - 29) 供田文宏, 高田正信, 絹野裕之, 鍵谷聡志, 富田 新, 安本耕太郎, 井上 博: Dahl食塩感受性ラットにおける高血圧発症に伴う糸球体と腎内抵抗血管の構造特性の変化. 第4回腎と高血圧研究会, 1998, 12, 東京.
 - 30) Miwa K.: High-density lipoprotein changes in coronary artery disease. *Cardiovasc. Res.* 40:419, 1998.
 - 31) Miwa K., and Inoue H.: Soluble E-selectin and soluble intercellular adhesion molecule-1 in coronary artery disease. *Cardiovasc. Res.* 37:828, 1998.
 - 32) 杉本恒明, 相澤義房, 井上 博監訳: ジョセフソン 臨床電気生理学 手技と解釈 (原書第二版). 西村書店, 新潟, 1998.
 - 33) 高田正信: 第8回ヨーロッパ高血圧学会. 血圧 5: 92-93, 1998.
 - 34) 三羽邦久: 冠動脈トーン異常としての冠攣縮. *Novartis Cardio Journal* 9: 5-6, 1998.